

■ヤックス自然学校（株式会社千葉薬品 受託事業）

事業件数：47事業

稼働日数：119日

主な事業：

- ①年間通じて、子ども（幼児、小学生、中高生）対象の自然体験プログラム
- ②ファミリー対象の自然体験プログラム（キャンプ教室、親子スキーツアー）
- ③キャンプリーダートレーニング（NEALリーダー指導者養成含む）

年間参加者数：1,500人

参加者延べ：3,500人

リピーター率：50%

ヤックス自然学校会員数：450名

重点項目：

- ① 企業の社会的責任（CSR）に基づく事業継続、および酷暑等の気象変化への柔軟な対応とハラスメント・チャイルドプロテクションを含むリスクマネジメントの再徹底
- ② 各SNSの特徴を活かしたリアルな活動発信による、新規参加検討層への安心感の提供と参加機会の拡大
- ③ キャンプリーダーの募集に注力し、学生が将来社会人として、「自身の成長の場」と確信できる指導体制およびNEALリーダー養成事業の継続
- ④ ヤックスキャンプ50周年を機にこれまでの歩みをまとめ、発信による信頼と実績の証明、および記念イベントの開催を通じた顧客満足度の向上と組織活性化

■事業部：受託事業

事業件数：18事業（継続16、新規2）

主な事業：

- ① 地域と連携した教育旅行の体験コーディネート
- ② 教育旅行、企業研修、スポーツクラブ、生涯学習等におけるチームビルディングプログラムの提案
- ③ 企業のCSRによる体験活動支援（ヤックス自然学校、コスモ石油、千葉テレビ等）
- ④ 県農林水産部農地・農村振興課 中山間ふるさと活性化チャレンジ事業の発展と継続
- ⑤ 公式LINEの維持管理、記事の更新、登録者数の増大

重点項目：団体会員、ネットワークを活かした地域課題解決への取り組み

- ① 指定管理施設及び古民家ろくすけとの連携による教育旅行、企業研修、CSR活動におけるプログラム展開の充実
- ② 新たな需要に対応するための人材育成及び外部連携の推進

専属スタッフの教育、人材育成、雇用

■事業部：南房総市大房岬自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業 39 事業

主な事業：

① 受け入れ事業目標数値：

利用者数 24,000 人、宿泊者数 14,000 人、団体数 250 団体

② SDGs プログラムの誘致と地域連携による受入れ

目標値 15 校 1,500 名

③ 南房総市内小中学校の「南房総学」受入れ

重点項目：

① 老朽化した施設の大規模改修に向けた市との交渉

② 地域内の事業者連携を活かした SDGs 教育旅行の受け入れ増

③ 地域の自然体験活動団体のネットワークの拡充

④ 自然体験活動指導者の育成

■事業部：千葉県立大房岬自然公園（指定管理）

事業本数：主催事業 41 事業

主な事業：

① 岬の自然環境整備

② ソロキャンプから団体利用まで、多くの方のニーズに合わせたキャンプ場運営

③ 森と海に囲まれた環境を活かした主催事業運営

目標数値：キャンプ場利用張数 3,350 張

主催事業参加者数 900 人

重点項目：

① 生きものの生息地の確保、次世代の森作り、利用者の安全確保といった様々な視点からの環境整備

② LINE や SNS での広報戦略を拡充した主催事業の運営

③ 大房岬自然の家との連携による、少人数での効率的な運営体制の構築

■事業部：千葉県立君津亀山青少年自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業 59 事業

主な事業：

① 「ファミリー野遊び教室」海や川遊びなど野遊びをテーマに複数回実施

② 「6 歳になったら机を作ろう」木こり体験と学習机を自分で作る体験

③ 「森っこレンジャー」小学生対象 特別編としてチャレンジハイクを実施予定

目標数値：利用者数 36,000 人 宿泊者数 17,000 人 団体数 430 団体

重点項目：

① 満足度向上によるリピーター団体の増加（利用者満足度目標 98.5%）

② 事故「ゼロ」への取り組み リスクの早期発見とリスク評価、対策の徹底

③ 誰一人取り残さない教育の実現 公共施設での体験活動の質向上

■地域協働部：ちば・体験活動ネットワーク事業

主な事業：

- ① 団体会員の Facebook（活動報告、活動案内）を随時シェア（共有）して、広く社会に情報発信していく。
- ② 団体会員（24）とエリア担当の情報交換、情報共有、協働事業が出来やすい環境を整える。

■北総エリア（12）

担当者による定期的な団体会員訪問（イベント・農作業手伝い）。

職員と団体会員との接点づくり。

■上総エリア（4）

団体会員と当団体が双方向に対して人材派遣、講師依頼、会場・備品使用、プログラム依頼、必要な情報の収集・提供などが発生した場合、必要に応じた相互協力を行う。

■南房総エリア（8）

当団体と団体会員間で積極的にコミュニケーションを図り、人材依頼、人材派遣、物品の貸し出しなど、今後の相互協力を強固にする。

- ③ 県内の体験活動団体、個人とのネットワーク拡大、拡充。

■地域協働部：古民家ろくすけ事業

主な事業：

- ① ヤックス自然学校ホームステイ、一般農泊、日帰り利用などの受入れ
- ② フィルムコミッションや独自の広報による撮影利用の促進
- ③ 生物生息環境の保全と整備、菜園の維持管理
- ④ 地域産物の加工販売
- ⑤ 郷土料理・味噌づくり等の加工体験の実施と指導者養成
- ⑥ 平群ツーリズム協議会、「ろくすけの会」、シニア自然大学、地域団体等と連携した地域活動

目標数値：販売加工品（ジャム、クッキー、味噌、ろくすけもち）

重点項目：

- ① 母屋、風呂場、土蔵の維持管理
- ② 企画・運営・管理ができる人材の育成
- ③ 食品加工（手作りみそ、ろくすけもち等）の若手スタッフへ伝承
- ④ 施設、菜園、周辺環境・生きもの生息環境の保全・整備
- ⑤ 地域・都市連携による地域の活性化

地元学校教育との連携事業

■千葉シニア自然大学

主な事業：第14期

1) 本科コース（18講座、41単位）

- ① ちばの里山里海の自然・保全・活用を学ぶ（8講座18単位）
- ② 地球・天文・宇宙のしくみを学ぶ（9講座22単位）
- ③ 体験活動講座（1講座1単位）

2) 自然と俳句コース（全10回、2回の吟行を含む）

目標数値：受講者数 本科コース30名、自然と俳句コース15名

重点項目：

- ① 受講者のより高い満足度を目指し、事務局の十分な準備と受講生同志の交流に配慮した運営を図る。
- ② 新型コロナ感染症予防対策に万全を期すとともに状況に応じ研修旅行等特別講座を実施する。
- ③ 卒業生の交流を活性化するために古民家ろくすけで環境整備や農業を活用して交流活動を進めるとともに、それぞれの地域でボランティア活動等に関わることができるよう支援する。

■地域協働部：体験農園 IN 岩名

事業回数：11回

目標数値：25区画全て利用

主な事業：事務局として受付業務等

- ① 作付け講習会 9回
- ② 勉強会・メンテナンス 2回

重点項目：

- ① 事務局（受付業務）の引継ぎ
- ② 土地契約者の変更の提案
- ③ 都市部の遊休農地、耕作放棄地を活用した「農」のある暮らしの提案
- ④ 継続のための運営方法の効率化